

# withコロナ時代 感染症用BCPとDX推進は、 経営のワクチンだ



## 感染症用事業継続計画 (BCP) を準備しよう

中小企業は、人員不足に加えデジタル化が遅れており、感染症等への対応力が低い状況です。長期化するウイズコロナを乗り切るために、経営者が重篤な状態となる場合やメインの技術者が職場離脱となる可能性も想定しながら準備しましょう。

決まった書式はありません。難しく考えると策定できないので、自社の状況に応じて特に必要な部分だけでも準備しておきましょう。

## 感染症用事業継続計画(BCP)策定イメージ

1. 当社の事業概要と使命
2. 事業継続への取り組み基本方針
3. 当社で優先的に継続もしくは再開させる重要業務
4. 本計画の見直しや教育・訓練など



### 5. 被害の想定又はBCP発動条件

- ① 地域医療などの状況
- ② ヒトへの影響
- ③ モノ・設備への影響
- ④ 資金への影響
- ⑤ 情報・その他への影響

### 6. 事前対策の検討と担当者

- ① ヒトへの対策・テレワーク対応
- ② モノ・設備への対策
- ③ 資金への対策
- ④ 情報・その他への対策
- ⑤ デジタルによる経営変革の推進

### 7. 緊急時の対応と組織体制と担当者

- ① ヒトへの対応・テレワーク・分散勤務
- ② モノ・設備への対応
- ③ 資金への対応
- ④ 情報・その他への対応
- ⑤ 緊急時の組織図

### 8. 感染症対応ガイドライン

- ① 感染防止 検温・消毒・換気・マスク等
- ② 業務の運営方針・出張や訪問規制
- ③ 感染と思われる症状が出た場合
- ④ 自分自身が感染した場合
- ⑤ 家族が感染した場合
- ⑥ 同一施設内で感染者が出た場合

### 9. その他関連事項

相互支援企業・アライアンス契約  
テレワーク運用規定や就業規則の検討

地震・水害とコロナの複合災害の対応  
各種文書の承認や押印ルールの見直し





# withコロナ時代



## 感染症用BCPとDX推進は、経営のワクチンだ

### 感染症のBCP発動はどんな時？

- BCPの発動は自社の危機感の感じ方で決めることになります
- ・社内でクラスターが発生と判断（報道）されてしまった場合
- ・社内で陽性者が発生してしまった場合
- ・地域で急増し、社内で濃厚接触者が多数発生してしまった場合



### 危機感の感じ方の理解

業種によって危機感の感じ方はかなり異なります  
取引先の危機感のレベルに合わせて対応する必要もあります  
社員の家族構成や健康状態、仕事内容でも危機感が異なります  
自然災害と違い収束が不透明なので精神的負担があります

経営者が  
判断する



### 感染症の被害想定

店舗や施設サービスを行っている場合は、収入停止に直結します  
取引先との面談訪問ができなくなる可能性があります  
中小企業内でクラスターが発生してしまった場合が最悪想定です  
複数人がおよそ半月単位で欠勤となると業務停止となる可能性があります



### 発生時の対応と情報提供

ネットなどで過剰な反応や差別的な情報を流される可能性もあります  
正確な情報を取引先に通知するとともに、HPなどで告知します  
発生した場合には保健所に連絡し指示を仰ぐことになります  
感染防止や、清掃、消毒体制を整えていた場合は再開がスムーズとなる可能性があります



### 業務継続のための事前対策

感染が拡大した場合にはテレワークや分散勤務を検討します  
ペーパーレス化・データ化・クラウド化を進めます  
オンラインツールに慣れておくなどデジタル化に取り組みます  
自動化・無人化・非接触などの設備導入を検討します  
複数の業務が出来るようにクロストレーニングをします  
業務の標準化やマニュアル整備を進めて代替可能な体制を作ります  
相互支援先など協力企業をみつけておきます

デジタル変革  
を進めよう

